

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2009 年 6 月 28 日現在

概況 ワシントン州東部の 6 月 28 日に終る 1 週間の気象は、高温・乾燥気象となった。日中の最高気温は EC 地区では 90 度となったが、最低気温は 40～46 度 F と低く平均気温は平年を 2～6 度 F 下回った。SE 地区（Palouse 地方）の最高気温は 92～95 度 F、Pullman 観測所では 85 度 F と高温であったが、平均気温は平年を 2～5 度 F 下回った。降雨は Palouse 地方にて 0.01～0.02 インチを記録したのみであった。1 週間の州平均農作業稼働日数は 7.0 日（前週：6.1 日）であった。Topsoil の土壌水分は前週より “Surplus” が減り “Adequate” が増えたが、Subsoil の水分は前週より “Short” が増加した。土壌水分は 5 年平均より悪い状態が続いていた。全州に於ける冬小麦の 99% が出穂し、昨年より多少早い 5 年平均並みの進展であった。EC 地区の冬小麦は登熟期の後半となり、黄色化が進んだ。完熟期となった冬小麦もある。Walla Walla 郡の冬小麦は比較的低目の気温であったことより、澱粉蓄積が良好であった。Whitman 郡では驟雨があり、冬小麦及び春小麦の作柄を改善した。春小麦は 70%（去年同期：62%、5 年平均：77%）が出穂した。冬小麦の作柄は “Good” から “Excellent” に上がった圃場があった。春小麦の作柄は全体に多少改善した。

土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	7	37	55	1
	5-Yr Ave.	5	27	66	2
Subsoil	This week	10	37	52	1
	5-Yr Ave.	6	30	64	0
Irrigation	This week	0	2	96	1
	5-Yr Ave.	2	5	92	1

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	99	95	96	99

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	8	14	28	44	6
Last week	8	13	29	48	2

春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	70	47	62	77

春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	11	37	48	3
Last week	1	10	42	45	2

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2004,2005,2006,2007 and 2008 Crop year.